

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和4年4月18日(2022.4.18)

【公開番号】特開2021-162562(P2021-162562A)

【公開日】令和3年10月11日(2021.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2021-049

【出願番号】特願2020-67743(P2020-67743)

【国際特許分類】

G 01 S 17/42 (2006.01)

10

【F I】

G 01 S 17/42

【手続補正書】

【提出日】令和4年4月7日(2022.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の電磁波を照射する照射部を有し、対象が存在する空間へ向けて、照射位置を変えながら前記第1の電磁波を照射する1の照射系と、

前記対象との距離を測定するために、前記第1の電磁波が前記対象で反射した反射波を検出する、第1の検出部と、

互いに視野の一部を共有し、前記空間から第2の電磁波が入射する、複数の入射部と、前記複数の入射部の各々について個別に設けられ、対応する前記入射部から入射する前記第2の電磁波に基づいて前記空間の画像を撮像するための複数の第2の検出部と、を有し、

30

1の前記第1の検出部が、前記複数の入射部によって共有された視野内に存在する前記対象からの前記反射波を検出する、電磁波検出装置。

【請求項2】

前記入射部はレンズを備え、

前記複数の入射部は、互いに隣接する前記入射部の周縁部の視野を共有する、請求項1に記載の電磁波検出装置。

【請求項3】

前記レンズの光軸が、前記第2の電磁波が入射する方向側で交差するように配置される、請求項1又は請求項2に記載の電磁波検出装置。

【請求項4】

前記照射系は、前記第1の電磁波の出力方向を水平方向に変化させ、

前記複数の入射部は、水平方向に沿って配置される、請求項1乃至請求項3に記載の電磁波検出装置。

【請求項5】

前記第2の電磁波には前記反射波、及び太陽光が前記対象で反射した光が含まれ、前記照射部は前記第1の電磁波として赤外線を照射し、

前記複数の入射部に入射する前記第2の電磁波を波長に応じて分離又は透過し、前記第2の電磁波に含まれる可視光を前記第2の検出部へ進行させる分離部を有する、請求項1乃至請求項4に記載の電磁波検出装置。

【請求項6】

40

50

1の前記入射部に対して、1の前記第1の検出部が設けられている、請求項1乃至請求項5に記載の電磁波検出装置。

【請求項7】

請求項1乃至請求項6に記載の電磁波検出装置と、

前記第1の検出部による、前記反射波の検出に基づいて、前記対象との距離を算出する演算部と、を有する、測距装置。

10

20

30

40

50